

手こぎ自転車マラソン

金沢のNPO ネット生中継

西足に障害のある東京都の会社員永野明さん(三)が手こぎ自転車で東京から故郷・福岡まで走る来月十日の「TED-DEマラソン2008」を、金沢市のNPO法人(特定非営利活動法人)が携帯電話のカメラで動画撮影し、生中継する。映像はインターネットと携帯電話のホームページ(HP)に配信。永野さんは「多くの人に見守られ、励みになる」と話している。
(経済部・村松権主鷹)

東京ー福岡12000キロ



手こぎ自転車マラソンの映像を配信するNPO法人STANDの伊藤数子副代表理事(手前)ら中継基地のスタッフ=11日、金沢市で

このNPO法人は障害者スポーツを支援するSTAND(スタン)と大星公二代表理事(大会の案内や携帯電話カメラによる試合中継などをするHP「アスリート・ビレッジ」を運営しており、永野さんもコラムを寄せている。マラソンは東京・日本橋を出発し、福岡市までの約千二百キロを十日間で走る計画。手こぎ自転車に携帯電話二台を付け、永野さんの表情と前方の光景を生中継する。伴走車にはSTANDのスタッフが同乗し、永野さんを撮影する。映像は、立ち上げたばかりの専用HPやアスリート・ビレッジ、

永野さん走行 携帯のカメラで撮影へ

携帯電話の動画サイト「ムービーフル」などに配信。専用サイトでは、日本地図に線を引いた走行経路に永野さんの現在位置が示され、応援メッセージを書ける。連携するIT企業、パステルラボ(金沢市)の技術支援や撮影スタッフの派遣、通信料金など費用は数百万円。石川県内の高桑美術印刷と山崎屋のほか、オムロン、NECなどが協賛し、支援も広がっている。STANDの伊藤数子副代表理事は「中継で永野さんが無事走っていることを確認することがができる。専用HPに応援メッセージを寄せてほしい」と話している。専用HPは「NPO法人STAND」のHPから入ることができる。



手こぎ自転車マラソンに挑戦する永野明さん(STAND提供)